

## ジェンダー史学会春のシンポジウム概要

### 1, シンポジウム・テーマ

「鹿児島に生きたおんなたち—生活記録をめぐる語りから歴史を紡ぐ」

### 2, 企画趣旨

鹿児島のジェンダー史研究は、厳しい自然条件を跳ね返す、鹿児島の女性たちの多彩で豊かな歴史的歩みに比して、実に不振な状況である。前近代から現在までの著名女性に対する伝記、いくつかの地域や婦人団体の活動記録、生活手記類は刊行されていて、それ自体刮目すべき内容をもっているが、通史を書くだけの研究の蓄積はなされていない。私たち「ジェンダー史学会」春のシンポジウム実行委員会は、鹿児島の女性たちの粘り強くたゆみない「生」を記録するにとどまらず、それを歴史として叙述できるような基盤を構築し、将来の研究につなげたいと考えた。したがって、この春のシンポジウムは研究が手薄な中で、今できるところから始め、微力ながら鹿児島ジェンダー史研究の出発点となる基礎的作業を行うことを、目標にしている。

具体的には、①農村や漁村、開拓村、婦人団体活動、社会運動など様々な場で道を開いてきた先輩たちのインタビューとその記録作業（DVD自主製作）、②将来、鹿児島女性の通史を書く土台の整備作業（文献目録・年表作成）である。

シンポジウムにおいては、基調講演と自主製作 DVD で、鹿児島女性たちの戦前から現在までの生を語ってもらい、講演とコメントでそのようなオーラルヒストリーの背後にある鹿児島の構造的な歴史的背景を明らかにする。総合討論とあわせて、現在に至っても女性差別が他地域より特に強いと言われる鹿児島の構造的な問題を抽出できればと考えている。

### 3, 開催予定日・場所・申し込み

**2015年5月30日（土） 13:00～17:30**

かごしま県民交流センター 大会議室

〒892-0816 鹿児島市山下町 14-50

電話：099-221-6600（代表）

**入場無料・事前申し込み不要**

### 4, プログラム

13:00～13:05 開会挨拶・趣旨説明

井上和枝（鹿児島国際大学）

13:05～13:45	基調講演	相星雅子（作家）	「生活記録からみた鹿児島女性史」
13:50～14:50	自主製作DVD		「鹿児島に生きる」上映
14:50～15:05	コーヒーブレイク		
15:05～15:50	講演	疋田京子（鹿児島県立短大）	「鹿児島ジェンダー史研究の可能性とその視座」
15:50～16:35	調査報告	山田晋（鹿児島国際大学）	「女性解放運動の先覚者・勝目テルの鹿児島時代」
		佐々木陽子（鹿児島国際大学）	「枕崎の銅像から見えてくるジェンダー」
		鶴田かおり（ジェンダー史学会会員）	「鹿児島女性史文献目録を作成して」
16:35～17:30	総合討論	司会 井上和枝	

## 5, 共催

鹿児島国際大学

## 後援

鹿児島県男女共同参画センター

鹿児島市

南日本新聞社

MBC 南日本放送

## 6, 懇親会

時間： 18:00～

場所： 宝山ホール2F カフェ マ・ナ～ナ（シンポジウム終了後団体移動）

会費： 1000円

申し込み 会員は事前に、非会員は当日シンポジウム会場にて申し込み

司会

有松しづよ（志学館大学）

開会挨拶

館かおる（ジェンダー史学会代表）

鹿児島シンポジウムを開いて

山崎喜久枝（鹿児島シンポジウム実行委員）

閉会挨拶

野村鮎子（ジェンダー史学会常任理事）

## 7, 連絡先

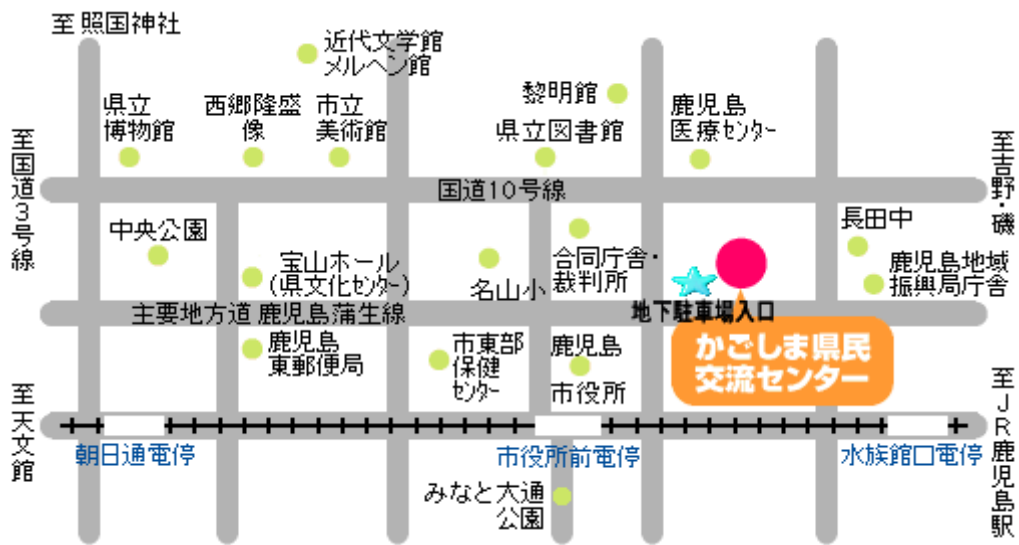
井上和枝（鹿児島国際大学）

099-263-0141(研究室)

kazue-i@int.iuk.ac.jp

## かごしま県民交流センター

### ●周辺地図



### アクセス

- 県外から 空港リムジン市役所前下車、徒歩6分
- 県内 市電「水族館口電停」下車、徒歩4分